

AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業

平成30年度予算額 **8.0億円（新規）**

事業の内容

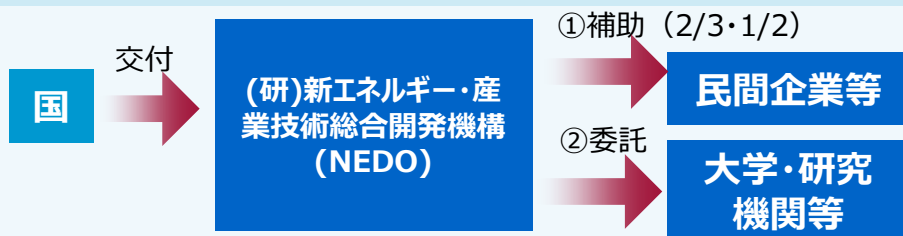
事業目的・概要

- IoT社会の進展に伴い膨大な情報を効率的に処理するため、エッジ側での情報処理が重要視されています。これらのニーズに対応するエッジコンピューティング実現のためには、AI, IoTを効率的かつ省エネルギー化するAIチップ（半導体）の開発が必要不可欠です。
- 我が国では、ベンチャー企業等を中心に、AIの知見とともに新たなビジネスを創出させるイノベーションの種が存在しています。しかし競争力のあるAIチップを開発するためには、AIとチップの設計、ソフトとハード双方に関する知見と技術に加え、高額な設計ツール等も必要であり、これがビジネス化に向けた高いハードルとなっています。
- 本事業では、民間企業等が持つAIチップのアイデアの実用化に向けて、大学や研究機関等によるAIチップ開発のための共通基盤技術の開発成果や、設計開発環境、知見等を提供することで、イノベーション実現のためのAIチップ開発を加速します。

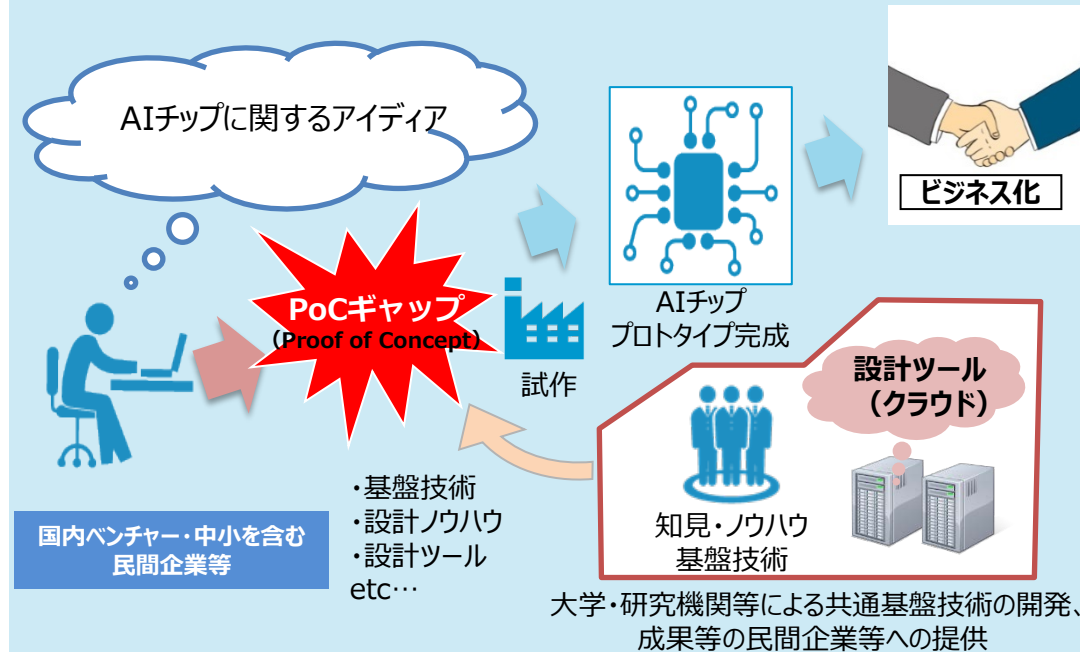
成果目標

- 平成30年度から34年度までの5年間事業であり、本事業において民間企業等が開発する技術の実用化率5割以上を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



① AIチップに関するアイデア実用化に向けた開発

- 民間企業等が持つアイデアの具体化に向けた開発、基礎設計を実施する。
- 設計ツール等を用いた本格的な設計や原理実証を実施する。

② AIチップ開発を加速する共通基盤技術の開発

- AIチップ開発に必要な開発環境を整備、その知見と共に民間企業等へ提供する。
- 高機能なAIチップ開発に資する設計技術等の開発を実施。開発した成果をAIチップ開発を進める民間企業等と共に検証する。
- IoT技術、AI技術を活用するための知見、ノウハウを持った人材育成を進める。